



2か月限定のご当地グルメ！

旬の『練馬野菜ぎょうざ』を楽しもう！

～食べ歩きキャンペーン・2013春を開催～

と き キャンペーン6月1日（土）から7月末（区内産の春キャベツ出荷終了まで）

と ころ 区内キャンペーン参加飲食店（区内飲食店 26 店舗）

練馬区観光協会（会長・篠利雄）と東京練馬野菜ぎょうざ王国（国王・内田克美）は、区内産キャベツがふんだんに使われた新ご当地メニュー「練馬野菜ぎょうざ」で練馬を盛り上げようと、キャンペーンを開催する。

期間中は、東洋医学を取り入れた健康ぎょうざや、皮に野菜を練りこんだ色鮮やかな3色水餃子など、キャンペーンに参加する区内飲食店が一手間かけてこだわった、個性あふれる「練馬野菜ぎょうざ」を味わうことができる。

キャンペーン中、参加店とそのこだわりの一品を紹介する「練馬野菜ぎょうざ食べ歩きマップ」1万部を練馬区観光案内所（練馬駅地下1階）や区立施設などで配布する。また、キャンペーンの公式ホームページでアンケートに回答すると、練馬区観光協会プロデュースの元祖「練馬野菜ぎょうざ」（冷凍）3パックを抽選30名様にプレゼントする。

国王の内田氏は、「練馬産キャベツがとれるこの時期ならではのご当地グルメとして、多くの方々に楽しんでいただきたい」と意気込んでいる。



【食べ歩きマップ表紙】

【練馬野菜ぎょうざとは】

23区で最大の農地面積を持つ練馬区は、都内ナンバー1のキャベツの生産量を誇っている。そこに着目した練馬区観光協会は平成21年、区内産キャベツをふんだんに使った特産品「練馬野菜ぎょうざ」を開発した。

そして、地元で愛される練馬の新しいご当地グルメとして、地域を盛り上げるために、「練馬産キャベツを使用していること」「餡の重量におけるキャベツの割合が3割以上」などの条件のもと、区内各店舗が独自の「練馬野菜ぎょうざ」を提供する食べ歩きキャンペーンを、平成22年秋から開催している。キャンペーンは今回で6回目。新たに4店舗が加わり、計26店舗で提供する「練馬野菜ぎょうざ」は、練馬で着実な広がりを見せている。



【食べ歩きマップ】

同協会では、参加店を紹介した食べ歩きマップ1万部を発行し、練馬区観光案内所（練馬駅地下1階）や区民事務所、出張所、図書館などの区立施設および各参加店舗で1日から配布している。

マップには、店舗案内のほか、各店のこだわり具材や意気込みが紹介されており、店舗選びの際の参考となる内容だ。

担当者は、「マップを入手して各店こだわりの味を楽しんで欲しい。参加店の入り口のオレンジ色ののぼりや、店内にある卓上ポップが目印です」と話している。



キャンペーン参加店頭
のぼり（写真左）

【問い合わせ】練馬区観光協会事務局 電話03-5984-1032